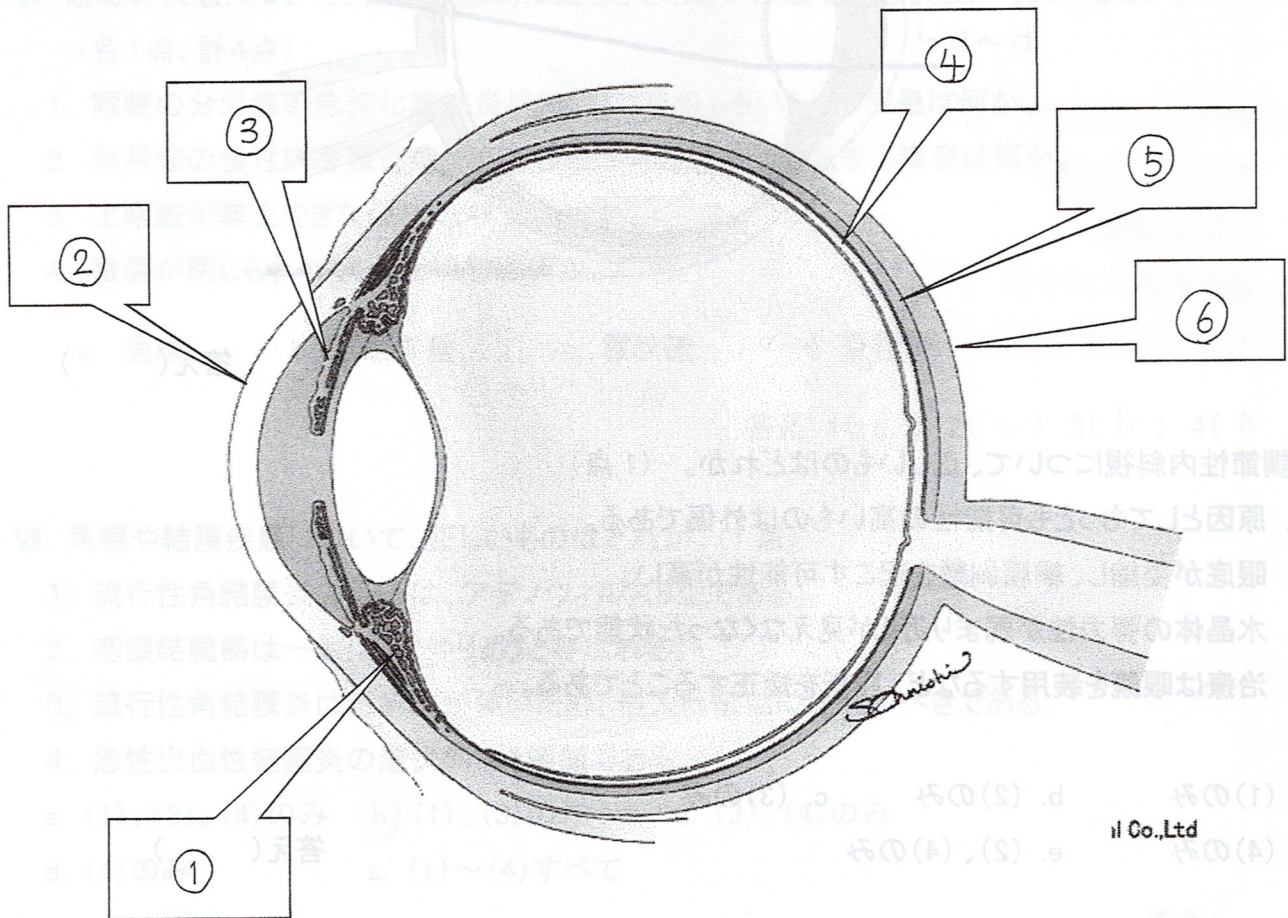


眼科試験 疾病論 5 小瀬先生

2025 年 10 月 16 日

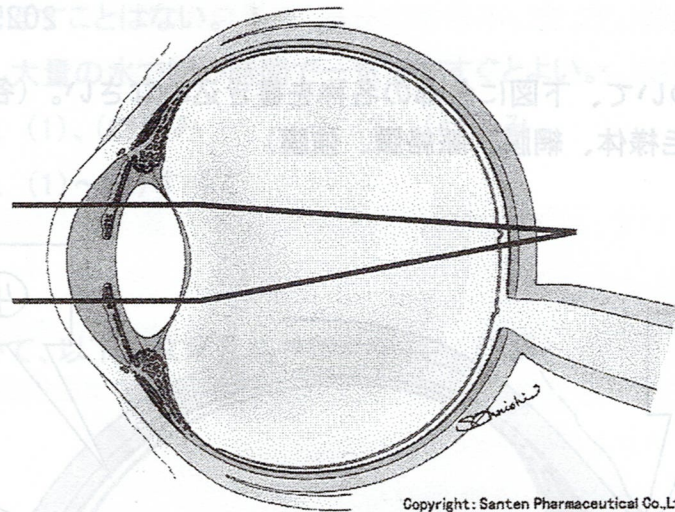
I. 眼球の構造について、下図に各部の名称を書き込みなさい。(各 1 点、計 6 点)
(角膜、虹彩、毛様体、網膜、脈絡膜、強膜)



il Co.,Ltd

Ⅱ. 屈折の異常について、下図のように調節を休ませたときに、平行光線が網膜の前方に像を結ぶ屈折状態であるものを何というか。次の中から選びなさい。(1点)

(正視、近視、遠視)



答え()

Ⅲ. 調節性内斜視について、正しいものはどれか。(1点)

1. 原因としてもっとも可能性の高いものは外傷である。
2. 眼底が委縮し、網膜剥離を起こす可能性が高い。
3. 水晶体の弾力性が弱まり近くが見えなくなった状態である。
4. 治療は眼鏡を装用するなど、屈折を矯正することである。

a. (1)のみ b. (2)のみ c. (3)のみ

d. (4)のみ e. (2)、(4)のみ

答え()

Ⅳ. 老視について、正しいものはどれか。(1点)

1. 眼底から出血して手術が必要になることがある。
2. 原因は水晶体の弾力力の弱まりや毛様体筋の衰えである。
3. 近いところが見えない状態である。✓
4. 調節力が原因である。✓

a. (1)のみ b. (2)のみ c. (4)のみ

d. (2)、(3)、(4)のみ e. (1)、(4)のみ

答え()

V. 調節について、近い所を見るときの状態として、正しいものはどれか。(2点)

1. 毛様体筋が弛緩して、チン小帯が緊張し、水晶体が厚くなる
2. 毛様体筋が収縮し、チン小帯が緊張し、水晶体が薄くなる
3. 毛様体筋が弛緩して、チン小帯がゆるみ、水晶体が薄くなる
4. 毛様体筋が収縮し、チン小帯がゆるみ、水晶体が厚くなる

答え()

VI. 眼瞼の疾患について、以下の説明に最もふさわしい疾患名を選択肢から選びなさい。

(各1点、計4点)

L a~d

1. 眼瞼の分泌腺の急性化膿性炎症で、俗にものもらいという疾患は何か。
2. 瞼板腺の慢性肉芽腫性疾患で瞼板腺からの分泌液がたまる疾患は何か。
3. 上眼瞼が挙上できなくなった状態は何か。
4. 瞼裂が閉じられなくなった状態は何か。

a. 兎眼 b. 眼瞼下垂 c. 霰粒腫 d. 麦粒腫

答え 1(d) 2(c) 3(b) 4(a)

VII. 角膜や結膜疾患について、正しいものはどれか。(1点)

1. 流行性角結膜炎の原因は、アデノウイルス8型である。
 2. 咽頭結膜熱は一般に『はやりめ』と呼ばれる。
 3. 流行性角結膜炎は感染力が強いので、他人へ伝染に注意すべきである。
 4. 急性出血性結膜炎の潜伏期は1週間である。
- a. (1)、(3)、(4)のみ b. (1)、(3)のみ c. (3)、(4)のみ
d. (4)のみ e. (1)~(4)すべて

答え()

VIII. 急性閉塞隅角緑内障について、正しいものはどれか。(2点)

1. 急激な眼圧の上昇のため、眼痛、霧視、頭痛、嘔気などの症状が起こる。✓
2. 眼球の充血などはなく、見た目ではわかりにくい。✗
3. 緊急の処置として、縮瞳薬の頻回点眼、眼圧降下剤の点滴を行う。✓
4. 手術としては、房水の排出路を作るためにレーザー虹彩切開術、或いは、観血的に周辺虹彩切除術が行われる。✓

a. (1)、(3)、(4)のみ b. (1)、(2)のみ c. (2)、(3)のみ
d. (4)のみ e. (1)~(4)すべて

答え()

IX. 次の文章のうち、間違っているものはどれか。(1点)

1. ぶどう膜炎を引き起こす病気には、全身性疾患が原因のものがある。✓
 2. 糖尿病網膜症は、硝子体出血や網膜剥離を起こすことがある。✓
 3. 高血圧が目に影響を及ぼすことはない。✗
 4. 眼に酸が入ったときは、大量の水で短い時間で一気にすすぐとよい。✗
- a. (1)、(3)、(4)のみ b. (1)、(2)のみ c. (3)、(4)のみ
d. (4)のみ e. (1)～(4)すべて

答え(C)

X. 白内障手術の順番について、以下の文章を並べ替えなさい。(1点)

1. 眼内レンズの挿入
2. 術野の消毒
3. 輪部の強角膜切開
4. 超音波で核を粉碎して吸引

答え(2 → 3 → 4 → 1)

Ⅴ. 調節性内斜視について、正しいものはどれか。(1点)

1. 原因としてもっとも可能性の高いものは外傷である。
 2. 眼底が萎縮し、網膜剥離を起こす可能性がある。
 3. 水晶体の弾力性が弱まり近くが見えなくなった状態である。
 4. 治療は眼鏡を装用するなど、屈折を矯正することである。
- a. (1)のみ b. (2)のみ c. (3)のみ d. (4)のみ e. (2)、(4)のみ
- 答え(A)

Ⅵ. 老視について、正しいものはどれか。(1点)

1. 眼底から出血して手術が必要になることがある。
 2. 原因は水晶体の弾力力の弱まりや水晶体核の老化である。
 3. 遠視と同じく遠視と近視の両方とも矯正できる。
 4. 調節力が原因である。
- a. (1)のみ b. (2)のみ c. (4)のみ d. (3)、(4)のみ e. (1)、(2)、(3)、(4)のみ
- 答え(B)

疾病論 5 眼科 (小溝先生)

令和 7 年 10 月 16 日 (木) 実施

I	①	毛様体	②	角膜	③	虹彩		
	④	網膜	⑤	脈絡膜	⑥	強膜		
II	遠視							
III	d							
IV	d							
V	x							
VI	1	d	2	c	3	b	4	a
VII	b							
VIII	a							
IX	c							
IX	2 → 3 → 4 → 1							

20

/ 20 点